R4年度 大分市 地域ネットワーク会議 開催状況

包括	テーマ	話し合いにより分かったこと、課題
上野ヶ丘	認知症	・認知症への関心が低い方への啓発活動が難しい・オレンジカフェ(認知症カフェ)を運営するにあたり、人材が不足している
碩田	地区内での情報共有の仕組みづくり	・関係者間での情報共有が難しい ・マンションの増加等により、見守り活動の継続が難しい
王子	高齢者の住まい	経済問題や保証人問題で住まいの確保が難しい高齢者がいる
大分西	見守り活動について	・地区活動等における人材が不足している・地区内での連携が希薄化している
城南•賀来	フレイル	・フレイルの普及啓発が不足している・新型コロナウイルスの影響により通いの場の数や開催回数が減少している
城東	フレイル	・新型コロナウイルスの影響により心身機能が低下している高齢者が多い ・新型コロナウイルスの影響により通いの場の数や開催回数が減少している
滝尾	助け合い活動、地域の繋がり	新型コロナウイルスの影響により、自治会単位での通いの場の数や開催回数が減少している地域助け合い事業に興味のある地区も多いが、現実は未整備
明野	医療、介護に関する意見集約	・独居や高齢者のみ世帯に対する見守り体制が必要・精神科医療機関との連携が必要・高齢者の買物および交通手段の確保が必要
原川	圏域内独自事業の現状と今後の展開に関 する共有	・公的サービスのみに頼ることなく、早い段階から介護予防に取組めるよう、運動、食事また交流ができる場を圏域全体に拡げていく必要がある。
鶴崎	災害関係	・災害に備え、住民間での情報共有およびケアマネジャーなどの専門職との連携が必要
大東	困難ケースの対応について	• 年齢や世帯状況などで支援の対象外となる方への働きかけが難しい
東陽	人生会議(ACP)	・人生会議の普及啓発が不足している
大在	高齢者の集いの場について	・高齢者が集う場(サロン、体操教室など)が不足している
坂ノ市	居場所づくり、助け合い活動	・誰もが気軽に集える居場所づくりが必要 ・高齢者の交通手段の確保が必要 ・住民だけでなく、関係機関を含めた繋がりづくりが必要
稙田	地域包括支援センターの広報について 見守り活動について	・高齢者同士での介護や認知症高齢者が増加している・自治会活動等における人材が不足している
植田西	認知症	・支援が必要な方が支援に繋がらない。
植田東	生活支援、介護予防	新型コロナウイルスの影響により通いの場の数や開催回数が減少している自治会活動等における人材が不足している
竹中•判田	高齢者が住み慣れた地域で生活するため の意見集約	・自治会活動等における人材が不足している・高齢者の交通手段の確保が必要・地域ふれあいサロンや運動教室などの地域で活動する団体と高齢者の支援を行う事業所との連携が必要
戸次•吉野	高齢者が住み慣れた地域で生活するため の意見集約	(吉野) ・高齢者の交通手段の確保が必要 ・高齢者の買い物支援が必要 〈戸次〉 ・新型コロナウイルスの影響により自治会内での交流が減少している ・高齢化で役員や世話人の後継者探しに苦慮している
野津原	高齢者が住み慣れた地域で生活するため の意見集約	・自治会活動等における人材が不足している
佐賀関・神崎	身寄りのない高齢者への支援	・身寄りのない高齢者への対応が周知されていない・地区内の生活に関わる商店の減少・高齢者の交通手段の確保が必要

※新型コロナウイルスの影響等により、南大分、稙田南圏域での開催はありませんでした。

〈用語の解説〉

- ■オレンジカフェ(認知症カフェ)…認知症の方とそのご家族、地域住民や専門職など誰もが気軽に集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
- ■フレイル…健康と要介護の中間の状態のこと
- ■通いの場…地域住民同士が気軽に集い、「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所。ここでは高齢者が対象の介護予防に繋がる場を指す ■人生会議(ACP)…もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組